

平成 19 年度 舗装施工管理技術者資格試験

2 級 応 用 試 験

試 験 問 題 ・ 解 答 用 紙

問 1 は必須問題です。

必ず記入 ➡

受験番号

問 1. あなたが経験した舗装工事のうちから1つを選び、その工事について下記の(1)～(4)の間に答えなさい。

- (1) 舗装工事名：工事名を明確に記述しなさい。(例：県道〇〇線〇〇舗装工事)

(工事名)

- (2) **工事内容**：工事の発注者、工期、主な工種、施工量を記述しなさい。

(発注者)

(工 期)

年

月

年

月

(主な工種)

(施 工 量)

- (3) 工事現場における施工管理上のあなたの立場を明確に記述しなさい。

(立場)

- (4) その舗装工事の施工にあたって、①留意した施工管理上の課題を78文字以内で、②現場で実施した対策を218文字以内で、次の欄に簡潔に記述しなさい。

[illegible][illegible]

問2から問5は選択問題です。これらのうち問題を3つ選択して解答しなさい。
問題を4つ解答した場合は減点となります。

この問題を選んだ場合は記入 ➡

受験番号

問2. 舗装の設計に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適切な語句を、下記の〔数値〕〔語句〕から選び、解答欄に記入しなさい。

〔数 値〕 2.4 3.5 50～70 70～100

〔語 句〕 一部 異なる 小型貨物自動車 すべて 大型自動車 同じ

- (1) 普通道路における舗装計画交通量では、一方向3車線以上の道路においては、各車線の大型自動車の交通の分布状況を勘案して、大型自動車の方向別の日交通量の ① % が1車線を通過するものとして算定する。
- (2) 小型道路における舗装計画交通量とは、舗装の設計期間内の ② の平均的な交通量のことである。
この舗装計画交通量は、 ② の一方向あたりの日交通量の ③ が1車線を通過するものとして算定する。
- (3) 排水性舗装、透水性舗装など雨水を路面下に浸透させる舗装構造の施工直後の浸透水量は、普通道路と小型道路では ④ 基準値となっている。
- (4) 小型道路の車道および側帯の舗装の施工直後の平たん性は ⑤ mm 以下で設定する。

<解答欄>

①	
②	
③	
④	
⑤	

問2から問5は選択問題です。これらのうち問題を3つ選択して解答しなさい。
問題を4つ解答した場合は減点となります。

この問題を選んだ場合は記入 ➡

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問3. 瀝青材料に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適切な語句を、下記の〔数値〕〔語句〕から
選び、解答欄に記入しなさい。

〔数 値〕 20 30

〔語 句〕 トップコート 改質 タックコート 表層
 グース 基層 ギャップ ロールド

- (1) 舗装用石油アスファルトや ① アスファルトは、主として加熱アスファルト混合物のバイ
ンダーに使用される。
- (2) 石油アスファルト乳剤は、主として常温アスファルト混合物、 ② 、プライムコートなど
に使用される。
- (3) 粗粒度アスファルト混合物は、通常、 ③ に用いる。
- (4) ポーラスアスファルト混合物の配合設計では目標空隙率を ④ % 程度とする。
- (5) ⑤ アスファルト混合物は、流し込み施工が可能な作業性と安定性が得られるようにクッ
カの中で高温で攪拌、混合して製造される。

<解答欄>

①	
②	
③	
④	
⑤	

問 2 から問 5 は選択問題です。これらのうち問題を 3 つ選択して解答しなさい。
問題を 4 つ解答した場合は減点となります。

この問題を選んだ場合は記入 ➡

受験番号								
------	--	--	--	--	--	--	--	--

問 4. 舗装の機械施工に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適切な語句を、下記の〔語句〕から
選び、解答欄に記入しなさい。

〔語 句〕

モーターグレーダ

スクリード

タイヤローラ

スリップフォーム

バーフィーダ

リフォーム

リフレクションクラック

湿地ブルドーザ

ヘアクラック

シープスフートローラ

- (1) 締固め機械が入れない軟弱な路床で石灰安定処理を行う場合には、混合終了後、① で軽く転圧を行い、数日間養生後、整形して ② で締め固める。
- (2) 加熱アスファルト混合物の初転圧は、③ の生じない限りできるだけ高い温度で行う。
- (3) アスファルトフィニッシャによる敷きならし厚さの管理は、④ の高さ調整によって行う。
- (4) コンクリート版の施工は、一般に、各種機械を組み合わせた機械化施工によって行われ、セットフォーム工法、⑤ 工法および転圧工法がある。

<解答欄>

①	
②	
③	
④	
⑤	

問 2 から問 5 は選択問題です。これらのうち問題を 3 つ選択して解答しなさい。
問題を 4 つ解答した場合は減点となります。

この問題を選んだ場合は記入 ➡

受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問 5. 舗装に見られる現象と補修工法に関する次の文章の①～⑤に当てはまる適当な語句を、下記の〔数値〕〔語句〕から選び、解答欄に記入しなさい。

〔数 値〕 3 4

〔語 句〕 リフレクションクラック フォグシール わだち掘れ
 プリスタリング ヘアクラック ブリージング
 マイクロサーフェシング 空隙づまり

- (1) アスファルト舗装内部のアスファルトが表面に浮き出し、アスファルトの膜ができる現象を という。
- (2) ポーラスアスファルト舗装の特有の現象として、 による性能の低下がある。
- (3) 薄層オーバーレイ工法は、厚さ cm 未満の加熱アスファルト混合物層を舗設する工法である。
- (4) は、急硬性改質アスファルト乳剤、水、セメントなどを混合したスラリー状常温混合物を薄く敷きならす工法である。
- (5) の発生を抑制・遅延させる場合には、クラック抑制シートの設置などを検討する。

<解答欄>

①	
②	
③	
④	
⑤	